

呼吸器内科

僕は当院で初期研修を2年間行い、現在専攻医2年目として勤務しています。研修先を迷われている先生方に当科の魅力を伝えるため、研修の様子を簡単にご紹介させていただきます。

当科の専攻医は、各学年2-4名で構成され、1年目は病棟業務中心、2年目以降は定期外来および初診外来を担当することになります。週3回の気管支鏡検査、週2回のCTガイド下生検はスタッフのバックアップのもと、専攻医が主体となって腕を磨くことが出来ます。週3回、人工呼吸器、肺癌、新入院患者さんについてのカンファレンスがあり、問題症例は相談することができるため、一人で抱え込むということはありません。担当患者さんは概ね10人前後のことが多いですが、超急性期や重症例が多いため勤務内容は大変忙しく、早朝から回診を始めて気付いたら夜、ということも決して少なくありません。

当科の特徴を簡単に述べます。

①症例の豊富さ

当院は3次救急指定病院であり、神戸市のみならず近隣の市から多数の緊急入院や重症例を受け入れております。緊急BAL(気管支肺胞洗浄)を一日何回もすることも稀ではありませんし、ECMO(体外式膜型人工肺)など当院でしか経験出来ない症例も経験することが出来ます。

②若手主体の雰囲気

不足が謳われる呼吸器内科医ですが、当科は専攻医を主体として若手が集まっており、共に刺激し合いながら成長出来ます。優秀なスタッフのバックアップも厚く、安心して診療に向かうことが出来ます。

③学術面の充実

呼吸器学会総会及び地方会の発表は専攻医のノルマです。それ以外に個人の余裕次第はありますが、国際学会での発表や論文の執筆をする人も多く、大学病院での研修に負けない研究成果を上げることが出来ます。

以上、当院の魅力について述べましたが、実際に見てみないと分からないことが多いです。少しでも興味をもたれた方は、当院に見学にお越し下さい。